令和７年度 南中グループ小中一貫教育構想図

南中学校　大里東小学校　大谷小学校　久能小学校　宮竹小学校

視点１：目標の共有

南中G 学校教育目標

切り拓け　たくましく　心ゆたかに

主体的に取り組む人、自立と自律の心をもつ人、道徳性豊かな人の育成をめざす

視点２：連続性・系統性

学びに向かう力を育む

○一人一人が主体的に学ぶ授業

学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりすることを通して、将来にわたって学び続けることができる力を育成します。

・個別最適･協働的な学びの実現
・ICT機器を活用した授業
・多様性に配慮した学習環境

○家庭学習と生活習慣づくり

自主的な家庭学習による自ら学ぶ習慣を育てます。

・家庭学習におけるICTの活用

体験を通して仲間と鍛え合う

○地域とつながる「探究学習」

地域の「ひと・こと・もの」に関わりながら、仲間とともに探究的に学びながら、地域を愛する子、地域に貢献できる子を育成します。

・地域と共に学ぶ防災学習
・地域を通して社会とつながる学習

○仲間とつながる力

各校の行事や諸活動を通して、対話しながら仲間を認め、高め合う力を育成します。

学校風土をつくる

○心かよう「あいさつ」

学校でも家庭でも地域でも、時と場に応じたあいさつの実践を通して、コミュニケーション力を育成します。

○自己理解と他者理解（思いやり）

多様な考えに触れながら、自分事としてとらえ、相手や集団のことを考える（思いやる）力を育成します。

・道徳授業の充実
・特別活動や各校諸行事

視点３：協働・交流

児童生徒の交流活動

〇小学校と中学校の交流

児童会･生徒会活動の協力･協働、各校の行事への参加などを通して、小中のつながりを深め、自己肯定感や自己有用感を育成します。

・合同あいさつ運動
・南中一日体験入学（６年）

教職員の協働

〇南中Ｇ小中一貫教育合同研修会

「駿風プラン」をもとに研究協議や意見交換を行い、系統性や連続性を確認しながら、９年間のゴールの子どもの姿を全職員で共有します。また、新しい学校における取組も協議していきます。

・小中一貫教育授業公開期間
・「ゼミ型」教職員研修
・小小学年部会（中教職員も参加）

視点４：地域連携

地域と共にある学校

地域活性化に向け、小中学生が協働しながら企画などに参加し、地域と連携し、地域を生かした教育活動を実施します。

・地域イベントでの協働
・学校応援団、健全育成会活動など

南中グループの小中一貫教育を支える組織

小中学校の校長、教頭、自治会代表、ＰＴＡ代表、有識者、ボランティア関係者等で組織し、子どもの実態および学校や子どもへの願い、教育活動への支援、地域と学校との協働について協議します。

・各小中学校「地域学校協働本部」
・南中グループ学校運営協議会

グループの軸となる取組・活動

生活科・総合的な学習の時間・特別活動における探究的な学習の展開